

平成 30 年 7 月 4 日

◎西内委員長 ただいまから、商工農林水産委員会を開会いたします。

(9 時 59 分開会)

ご報告いたします。武石委員から、所用のため本日の委員会を欠席したい旨の連絡が
っております。

本日の委員会については「委員長報告の取りまとめについて」であります。委員長報告
の文案については、お手元に配付してありますのでこの内容の検討をお願いいたします。

それでは、報告書案を書記に朗読させます。

◎書記 商工農林水産委員会が付託を受けた案件について、その審査の経過並びに結果を
御報告いたします。

当委員会は、執行部関係者の出席を求め、慎重に審査いたしました結果、第 1 号議案、
第 3 号議案、第 10 号議案、報第 1 号議案、報第 3 号議案、以上 5 件については、全会一致
をもって、いずれも可決または承認すべきものと決しました。

以下、審査の過程において論議された主な事項についてその概要を申し上げます。

初めに、農業振興部についてであります。

第 1 号「平成 30 年度高知県一般会計補正予算」のうち、「中山間地域所得向上支援事業
費」について、執行部から、中山間地域における重要な基幹的作物であるお茶について、
省力化による生産量の確保や仕上げ茶の販売強化を図るため、農事組合法人が行う施設整
備を支援する経費であるとの説明がありました。

委員から、この施設整備によりどの程度の省力効果があるのかとの質疑がありました。

執行部からは、現在、仕上げ茶の小袋包装は手作業で行っているが、小袋包装機の導入
によりすべて自動でできることから、職員 1 名が営業に専念できる体制となるとの答弁が
ありました。

別の委員から、平成 32 年度には全体の約 2 割を輸出していく目標を立てているが、今回
の施設整備はそれに対応するためかとの質疑がありました。

執行部からは、商談会で土佐茶の品質が良いので輸出してもらいたいという声もあった。
今回、新たに機械を整備することで H A C C P にも対応することから、そこでできる商品
を輸出していきたいとの答弁がありました。

別の委員から、他の地域での施設整備等の状況はどうかとの質疑がありました。

執行部からは、当初予算では津野山の農協が自走式の省力化の機械を検討している。他
にもがんばっている個人や団体がいることから、お茶で生活ができる体制をしっかりとつ
つていきたいと考えているとの答弁がありました。

別の委員から、県全体で土佐茶として売り出しているイメージをもっているが、個々の
地域で売り出していくことと土佐茶全体の販売戦略を、県としてどのように考えているの

かとの質疑がありました。

執行部からは、現在、農商工連携の土佐茶プロジェクトとして取り組んでいるが、地域にはそれぞれのブランドとしても売っていきたい思いがある。まとまった形で販路を切り開くとともに、それぞれの地域ではレストランや個人などに対し、よりコアに売っていくといった両方の戦略となるとの答弁がありました。

次に、第1号「平成30年度高知県一般会計補正予算」のうち、「食肉処理施設整備推進事業費」について、執行部から、新食肉センターの早期着手を可能とするため、県とJAグループ、食肉事業組合で立ち上げる新食肉センター整備推進協議会において、地質調査や運営シミュレーションのより詳細な検討を行うための経費であるとの説明がありました。

委員から、施設整備費への負担など各市町村の反応はどうか、また今後のスケジュールはどのようになるのかとの質疑がありました。

執行部からは、現在28市町村を回った印象では、可能な限り負担を軽減してもらいたいとの声はあるが負担に対する異論は出ていない。

スケジュールは、平成30年度の早い段階で実施設計の見積もりと各市町村の負担、その時点の基本設計に基づく整備費の概要を各市町村にお知らせし、丁寧に説明していききたいとの答弁がありました。

別の委員から、新食肉センター整備推進協議会が設立されるが、生産者の意欲が落ちないよう現場の声が届く組織としてもらいたいとの要請がありました。

別の委員から、土佐あかうしの高付加価値化として、従来のA1からA5ランクでの格付以外に評価をする仕組みが必要ではないかとの質疑がありました。

執行部からは、土佐あかうしらしい赤身の魅力を伝えるため、独自の格付けができないか検討しているとの答弁がありました。

次に、報告事項についてであります。

初めに、農業振興部についてであります。

Next次世代型こうち新施設園芸システムについて、執行部から、これまで普及を進めてきた次世代型こうち新施設園芸システムにIoTやAI技術を融合し、Next次世代型高知新施設園芸システムへと進化させる取り組みについて、県と高知大学、高知工科大学、産業団体などで構成する推進組織を今月立ち上げ、さらなる生産性の向上や高付加価値化に関する研究技術開発などを行っていくこととしているとの報告がありました。

複数の委員から、この取り組みは、県は国と一緒に進むべき方向であることは間違いないのでぜひ進めてもらいたい。一方で、必ずしも生産量を右肩上がりにはしたいわけではなく、持続的、安定的な農業をしていきたいという声や、農業の基礎の技術を学んだ上でこうした技術を進めてもらいたいという声も聞く。そうした声も大事にして進めてもらいたいとの要請がありました。

次に、林業振興・環境部についてであります。

小浜復旧治山工事の入札契約手続きの誤りへの対応と再発防止の取り組みについて、執行部から、このようなミスを再び起こさないよう毎月の単価の確認作業で使用する様式の変更など、作業の明確化と確認作業の見直しを行うとともに、職員の設計書作成能力やチェック力の向上を図るための研修を実施するなど、設計積算ミスの防止に対する取り組みを徹底していくとの報告がありました。

委員から、本来落札できたはずの企業や誤りを指摘した企業、そうしたところに迷惑をかけないのが1番重要だと思うので、再発防止策をより適正に運用されることを強く望みたいとの要請がありました。

次に、新たな管理型最終処分場の建設予定地の絞り込みに向けた取り組みについて、執行部から、最終候補地選定後のこれまでの取り組みとして、3市町の首長、議会、地域住民に対する説明会等の開催状況、エコサイクルセンター見学会の開催状況、現地調査の状況について報告がありました。

委員から、現地調査の取りまとめを7月下旬に行うということだが、この中で候補地から落選するところが出てくるのか、全て候補地から落選した場合はどうなるのかとの質問がありました。

執行部からは、今、科学的な視点から現地調査を行っているが、この結果だけで絞り込むのではなく、最終的には現地調査の結果と、3市町の首長、議会、住民の考え方、そういったものを総合的に検討した上で、どこが1番適した場所なのかを判断したいと考えているとの答弁がありました。

以上をもって、商工農林水産委員長報告を終わります。

◎西内委員長 それでは御意見をどうぞ。小休にいたします。

(小休)

◎ おおむね了解よ。

◎ 異議なし。

◎西内委員長 正場に復します。

ただいま協議いたしました文案により、本会議で委員長報告を行うことにいたします。なお、細部の文案の調整は正・副委員長一任でお構いないでしょうか。

(異議なし)

◎西内委員長 御異議なしと認めます。

よって、さよう決定をいたしました。

次に、閉会中の継続審査の件を議題といたします。

お諮りいたします。当委員会は、閉会中も継続して審査並びに調査をしたいので、お手元に配付してある案のとおり申し出ることに御異議ございませんか。

(異議なし)

◎西内委員長 御異議なしと認めます。

よって、さよう決定をいたしました。

以上で日程は全て終了いたしました。閉会の前に委員の皆様にご挨拶をいたしたいことがあります。

「出先機関等の調査事項の取りまとめの委員会」と「県外調査」についてであります。書記に資料を配付させます。

まず1点目は、「出先機関等の調査事項の取りまとめ」の委員会を、7月27日金曜日の午前10時より開催したいと思いますが、ご異議はありませんか。

(異議なし)

◎西内委員長 御異議なしと認めます。

よって、さよう決定いたしました。

また、取りまとめ項目については正副委員長に一任とさせていただきます。

次に、委員会の県外調査の候補地について書記に説明をさせます。

◎書記 それでは、県外調査の候補地について御説明します。

おおまかな候補地としては2つありまして、案①が北海道・東北方面、案②が九州方面としております。

日程案①北海道・東北方面は、知内町JAの省力化やブランド化などのニラの取り組みについて、バイオマス産業都市に指定されている知内町のバイオマス活用の取り組み、青森県がヤマト運輸と提携し、県産品を陸送と空輸を組み合わせた仕組みのAプレミアムについて、青森県ほたて流通振興協会の取り組み、みやぎ創業サポートセンターでの取り組み、JA高知園芸連仙台事務所の活動についてを調査候補としています。

日程案②九州方面は、鹿児島県垂水市のグローバル・オーシャン・ワークス株式会社の水産物輸出の取り組みについて、株式会社カゴシマバンズ霧島加工センターの全国チェーンと連携した生産・加工・販売について、熊本市農業協同組合の出荷場と肥後でこなすの取り組みについて、シタテル株式会社のICTによる衣服生産のプラットフォームについて、株式会社オプティムの産学官連携によるITを活用した次世代農業の創出について、佐賀県の高校生をターゲットにした起業家育成、ものづくり支援についてを調査候補としています。

日程案の下に調査候補先の概要をつけております。

また、概要には日程案を検討した際に出たほかの候補先の概要についても記載しています。

日程は出先調査の際に、9月4日から9月6日とお伺いしておりますが、本日は調査する方面の決定と日程の確認をしていただけたらと思います。

また、調査先との交渉はこれからですので、この候補以外で希望があれば調整をしたいと思います。

以上です。

◎西内委員長 このことについて協議をしたいと思います。御意見をどうぞ。小休にいたします。

(小休)

－ 県外調査候補地について協議 －

◎西内委員長 それでは正場に復します。

調査先につきましては、北海道・東北方面、調査日程につきましては、9月4日から6日ということでしょうか。

(異議なし)

◎西内委員長 御異議なしと認めます。

よって、さよう決定いたしました。

なお、細部につきましては、正副委員長に一任願います。

以上をもって、日程は全て終了いたしました。

これで、委員会を閉会をいたします。

(10時17分閉会)